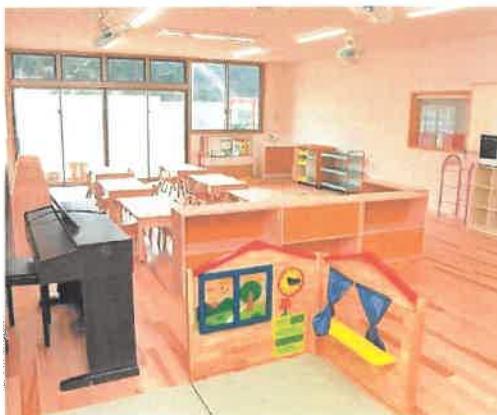


園舎が完成し4月に開園する「むさしこども園」



木のぬくもりが感じられる保育室



美作市が大原地域の2保育園を統合し、武藏の里に新築した「むさしこども園」(宮本)が完成した。木をふんだんに使い、ぬくもりのある雰囲気に仕上げ、4月1日に開園する。未就園児と保護者の交流拠点として市内4カ所目の子育て支援センターを併設している。(平田知也)

敷地は6612平方メートルで、園舎は木造平屋1339.8平方メートル。定員103人で、4月から85人が通つ予定。年齢に応じた保育室6室、遊戯室などを設けている。絵本コーナーには

高さ約3㍍のヒノキをシンボルツリーとして配置し、中央には中庭を設けて自然の光を取り入れる。厨房での調理の様子を見られるよ

# むさしこども園完成

う、大きめの窓を取り付けた。

統合したのは、大原断層上付近にある大原保育園(古町、65人)と、大吉保育園(赤田、23人)。廃止した温泉施設・クアガーデン武藏の里を解体し、2019年12月に着工。今年2月に完成した。総事業費は約7億8800万円。

落成式が22日に遊戯

室で行われ、地域住民

や園児代表ら約30人が

出席。萩原誠司市長が

「大原保育園の移転は

合併以来の課題で、い

ろんな方々の思いが詰

まっている。子育ての

課題にも向き合い、市

の将来を担う子どもも

ちを育んでほしい」

といつ。大原保育園

の浅尾めぐみ園長が

「地域に見守られ、愛

される園となるよう努

力する」と謝辞述べた。

市内のこども園は、

4月に移行する美作地

域の美作北幼稚園(橋

原中)を合わせ、3園

新しい園で絵本読んでね

ぬくもりある雰囲気

子育て支援センター併設

## ぬくもりある雰囲気

市内のこども園は、4月に移行する美作地域の美作北幼稚園(橋原中)を合わせ、3園となる。

### 保護者、地元企業贈る



(48)らが出席。大原保育園の浅尾めぐみ園長と大吉保育園の近江博子園長に目録を贈った。両園児の代表4人は「ありがとうございます」とお礼を述べ、式後には早速絵本を選んで読んでいた。

西浦代表は「仲良く読んでもらって、心優しく元気に育ってほしい」と話した。(平田知也)

©山陽新聞社 無断複製転載を禁じます。